

平成24年度

高等学校における発達障害に関する実態調査の結果について

高校教育課
特別支援教育課
教学指導課心の支援室

1 調査対象

長野県公立高等学校生徒

全日制85校 定時制18校 通信制2校

2 調査基準日

各年度8月末

3 調査方法

調査用紙を各学校に配布し、各項目について医師の診断のある生徒についてカウントした。

4 集計方法

特別支援教育課で集計した。

5 統計作成の留意点

対全体比の母数は、各年度5月に実施している学校基本調査の統計を使用した。

平成24年度

全日制 48,158人

定時制 2,228人

通信制 2,502人

合計 52,888人

平成24年度

高等学校における発達障害に関する実態調査の結果について

高校教育課
特別支援教育課
教学指導課心の支援室

1 診断を受けている生徒の在籍数

(1) LD(学習障害)

(単位：人・%)

年度	全日制	定時制	通信制	合計	対全体比
22年度	34	19	5	58	0.11%
23年度	33	9	1	43	0.08%
24年度	44	12	3	59	0.11%

(2) ADHD(注意欠陥多動性障害)

(単位：人・%)

年度	全日制	定時制	通信制	合計	対全体比
22年度	93	31	7	131	0.24%
23年度	86	32	5	123	0.23%
24年度	118	34	0	152	0.29%

(3) HF PDD(高機能広汎性発達障害)

(単位：人・%)

年度	全日制	定時制	通信制	合計	対全体比
22年度	160	65	5	230	0.42%
23年度	179	85	15	279	0.53%
24年度	223	106	16	345	0.65%

※高機能広汎性発達障害には高機能自閉症、アスペルガー症候群を含む

(4) 複数の診断

(単位：人・%)

年度	全日制	定時制	通信制	合計	対全体比
22年度	21	7	1	29	0.05%
23年度	13	6	1	20	0.04%
24年度	10	12	0	22	0.04%

※複数の診断に含まれる診断例：

LD(学習障害)とADHD(注意欠陥多動性障害)

ADHD(注意欠陥多動性障害)とHF PDD(高機能広汎性発達障害)

LD(学習障害)とHF PDD(高機能広汎性発達障害)

(5) 合計

(単位：人・%)

年度	全日制	定時制	通信制	合計	対全体比
22年度	308	122	18	448	0.82%
23年度	311	132	22	465	0.88%
24年度	395	164	19	578	1.09%

2 診断を受けている生徒が在籍する学校数

(単位：校)

年度	全日制	定時制	通信制
22年度	70	18	2
23年度	75	18	2
24年度	78	18	2

3 スクリーニングにより、特別な支援が必要だと思われる生徒数

(単位：人・%)

年度	全日制	定時制	合計	対全体比
22年度	788	262	1050	2.06%
23年度	789	253	1042	2.07%
24年度	831	314	1145	2.27%

※通信制については、課程の特性により調査の対象外とした

4 診断を受けている生徒の進路状況(23年度卒業生)

(単位：人)

障害名	進学	就職	作業所等	その他	合計
学習障害 (LD)	3	9	0	1	13
注意欠陥多動性障害 (ADHD)	12	7	0	1	20
高機能広汎性発達障害 (HFPDD)	41	10	1	14	66
複数の診断	0	0	0	0	0
合計	56	26	1	16	99

※高機能広汎性発達障害には高機能自閉症、アスペルガー症候群を含む

※その他の進路：家居、アルバイト等